



今日の表紙
市長初登庁



爽やかな青空に桜の花びらが舞う4月23日(水)、4月13日(日)に執行された日光市長選挙で、3回目の当選を果たした齋藤文夫市長が、市役所に初登庁しました。

午前9時に市役所に到着した齋藤市長は、本庁舎前のスロープに集まった多くの市民の皆さんや職員に温かい拍手で迎えられ、満面の笑顔で花束を受け取りました。

その後行われた就任式では、「地域の特性に応じた、きめ細やかなオーダーメイドの行政運営に取り組んでいく」と述べ、幸福・健康・環境・危機管理の「4つのK」を柱とする基本政策と、「攻めの行政」としてそれを実現させるための施策などについて訓示し、3期目の市政をスタートさせました。

齋藤市長の任期は、4月23日～平成30年4月22日の4年間になります。



水陸両用バス運行開始
4月25日(金)に、湯西川で今年度の水陸両用バスの運行が開始されました。
「道の駅湯西川」を出発した始発便には、14名が乗車。普段は見られないダム施設の見学の後、バスが湯西川湖に着水する瞬間には、大きな歓声が上がりました。
このバスは、11月30日(日)まで「道の駅湯西川」と「水の郷」から1日計8便が運行されています。



奥日光低公害バス運行開始
4月26日(土)、奥日光の低公害バスの今シーズンの運行が開始されました。この日は晴天に恵まれ、車内からは残雪の山々の風景や野生のシカが見られるなど、乗客から喜びの声が上がっていました。
このバスは、赤沼から小田代原を経て中禅寺湖西岸の千手ヶ浜までの約10kmを走り、周辺のハイキングには最適な路線です。
11月30日(日)まで平日7便、休日13便が運行されています。



足尾まつり
5月3日(土・祝)、足尾の春の風物詩である足尾まつりが開催されました。この祭りは、銅山を守る山神社へ奉納する山神祭の伝統を受け継いだものです。
朝から晴天に恵まれたこの日は、4つの地区から山車が集まり、お囃子を奏でながら足尾銅山観光までの道を練り歩きました。
山車と山車とがすれ違うときに、互いに踊りやお囃子を競い合う最

大の見せ場、「せり」では、おかめやひよつとに扮した子どもたちが元気の良い踊りを見せていました。
祭りに参加した蜂須賀快くんは、「お祭りは3回目の参加です。今日は手古舞の役をやりました。みんなで参加したのでとても楽しかったです。来年も手古舞として参加したいです」と、はにかんだ笑顔で話してくれました。



鬼怒川温泉さくらまつり
4月20日(日)に、鬼怒川温泉駅前イベント広場と桜並木通りで、鬼怒川温泉さくらまつりが開催されました。
当日は、鬼怒川温泉龍王太鼓やよさこいパレード、日光観光大使の涼風花さんによる書道パフォーマンスなどが行われました。
また、会場にはさまざまな食べ物などの屋台が出店し、多くの観光客や地元の人たちでにぎわいました。

よさこいパレードに参加した小山市の水島カツエさんは「毎年参加していて、今年で12回目です。軽快に踊れて、みんなの笑顔が見られて良かったです」と満面の笑みを見せてくれました。



春一番風街道
4月12日(土)～5月11日(日)に、鬼怒川温泉駅前広場で、毎年恒例の春一番風街道2014が行われました。
青色やピンク色、黄色で彩った約1万5,000個の風車が、春の爽やかな風を受けて軽快に回り、鬼怒川温泉郷を華やかに演出していました。

佐藤悠介サッカー教室
4月23日(水)から5回にわたり、丸山公園サッカー場で佐藤悠介サッカー教室が開催されました。
この教室は、栃木サッカークラブなどで活躍した佐藤悠介氏が、15年間で培ったプロのテクニカルスキルを子どもたちに還元するためのもので、昨年に引き続き開催です。参加した小学生は、真剣な表情で指導を受けていました。

弥生祭



日光に春の訪れを告げる弥生祭が、4月13日(日)～17日(木)にかけて行われました。

17日に行われたつげまつりでは東町7台、西町4台の計11台の家体がお囃子を奏でながら二荒山神社に集まりました。先番当番町の稲荷町、西町当番町の板挽町の順に家体が練り込み、祭りのクライマックスを迎えました。また、板挽町は今回、見事な本家体を披露しました。
東京都から友人たちと訪れた山本さんは「日光に旅行に来たら思いもかけず、お祭りをやっていた。お囃子がとても良く、家体も引かせていただきました。天気も良く、素晴らしい日光旅行の思い出になりました」と笑顔で話してくれました。

弥生祭の間中は大勢の観光客が詰め掛け、町中は祭りムード一色に包まれていました。

